

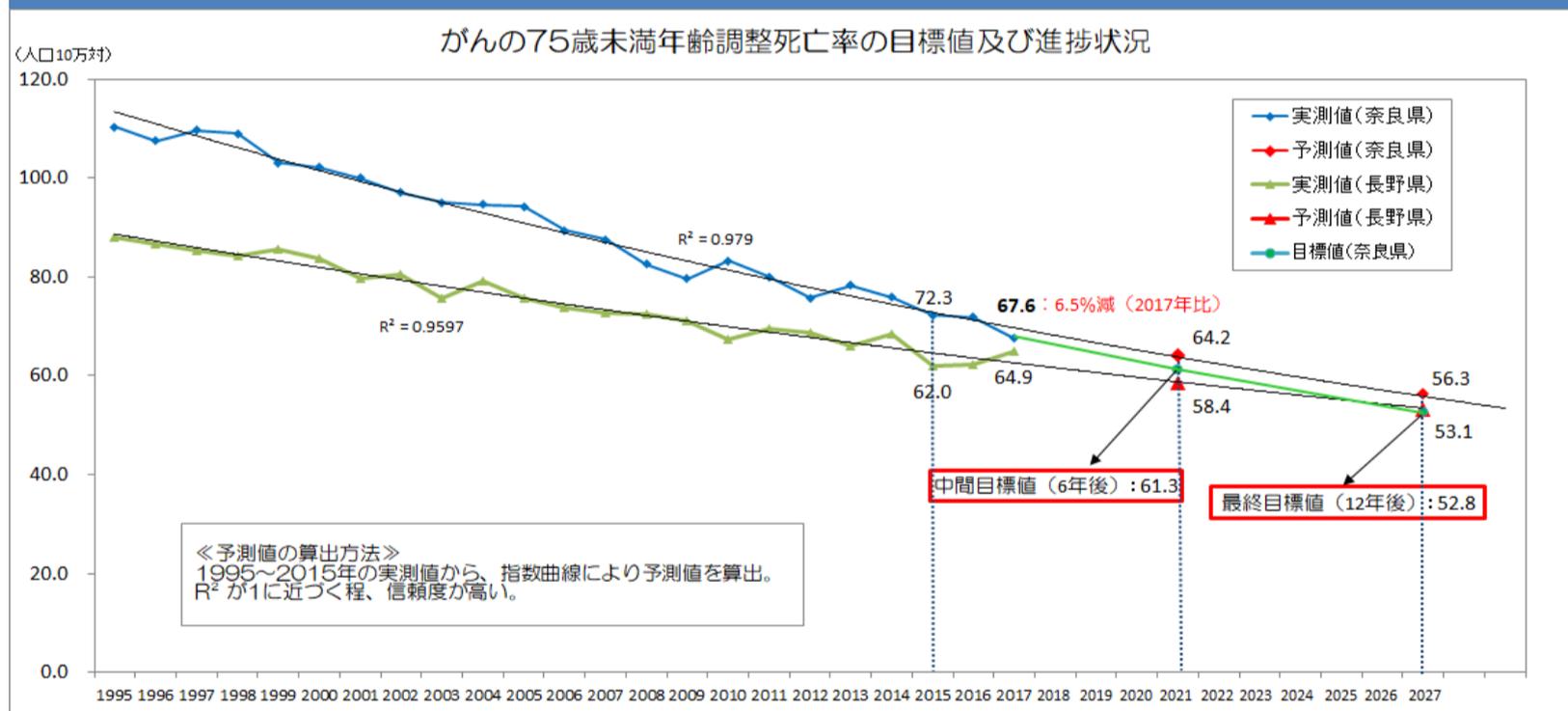
◆第3期奈良県がん対策推進計画の目標の進捗状況について

資料13

1 全体目標

目標	指標	現状値 (基準値)	H30年度	目標値	出典
がんにならない がんで若い人が亡くならない(がん予防、早期発見・早世防止)	がんの75歳未満年齢調整死亡率	72.3 (H27)	67.6 (H29)	52.8 (H39)	人口動態統計
すべてのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく療養生活を送ることができる	現在の心身の状況についてからだの苦痛(痛み)があると回答のあった割合	17.4% (H29)	—	減少	ならのがんに関する患者意識調査(奈良県)
	現在の心身の状況についてからだの苦痛(痛み以外の症状)があると回答のあった割合	33.8% (H29)	—	減少	
	現在の心身の状況について気持ちがつらいと回答のあった割合	30.5% (H29)	—	減少	
	経済的なことや就労のことなど、生活上の心配があると回答のあった割合	27.5% (H29)	—	減少	
	これまで受けた治療に納得していると回答のあった割合	88.1% (H29)	—	増加	
	がんと診断されたことによる心配や悩みは、何らかの支援によって現在は軽減されたと回答のあった割合	36.4% (H29)	—	増加	
すべての県民ががんを知り、がん向き合い、希望を持って暮らせる地域共生社会をつくる	現在の日本は、がん治療を受けながら、働き続けられる環境だと思うと回答のあった割合	29.1% (H29)	—	増加	県民アンケート(奈良県)
	この1年間に自ら健康づくりのためにしたこと ・がん検診を受ける	31.5% (H29)	35.5% (H30)	増加	
	・たばこを吸わない	55.9% (H29)	60.5% (H30)	増加	
	・塩分を取り過ぎない	48.4% (H29)	52.4% (H30)	増加	

全体目標（75歳未満年齢調整死亡率）の進捗状況



	2015 (基準)	2016	2017	2018	2019	2020	2021 (中間)	2022	2023	2024	2025	2026	2027 (最終)
奈良県	72.3	71.8	67.6	61.3	52.8
減少率	—	0.7%	6.5%	15.2%	27.0%

全国9位

全国6位

2 分野別施策

分野別目標		指標	基準値	H30年度	目標値	出典	
分野	目標						
1 がん予防・がんの早期発見							
(1)がん予防							
最終目標	がん罹患率減少	がん罹患率(全部位)	367.3 (H25)	385.7 (H27)	減少 (12年後評価)	がん登録(奈良県)	
	がんに関する正しい知識を持っている	過去1年間にがん検診を受診した人の割合 ・胃がん ・大腸がん ・肺がん ・乳がん ・子宮がん	36.2% 39.0% 38.5% 40.9% 38.3% (H28)	—	50%	国民生活基礎調査(厚生労働省)	
中間目標	禁煙希望者が禁煙できている	成人の喫煙率	12.2% (H28)	12.0% (H29)	9.9%	なら健康長寿基礎調査(奈良県)	
	県民が望まない受動喫煙にあわない	受動喫煙にあう人の割合 ・行政機関 ・医療機関 ・職場 ・家庭 ・飲食店	12.8% 7.9% 40.1% 14.0% 49.4% (H28)	8.9% 7.2% 34.0% 10.0% 43.3% (H29)	0% 0% 12.4% 2.6% 14.8%	なら健康長寿基礎調査(奈良県)	
	成人の塩分摂取量が減少している	成人の塩分摂取量 ・男性 ・女性	10.6g/日 9.2g/日 (H28)	— —	8g	国民・健康栄養調査(厚生労働省)	
	生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている人が減少している	生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている人の割合 ・男性 ・女性	11.2% 5.7% (H28)	10.5% 6.8% (H29)	減少	なら健康長寿基礎調査(奈良県)	
	運動習慣を有する人が増加している	運動習慣を有する人の割合 ・男性 ・女性	43.9% 43.8% (H28)	47.8% 44.0% (H29)	増加	なら健康長寿基礎調査(奈良県)	
	適正体重を維持している人が増加している	BMIが 男性:21~27の割合 BMIが 女性:21~25の割合	63.6% 38.9% (H28)	62.5% 40.4% (H29)	増加	なら健康長寿基礎調査(奈良県)	
	感染症予防のための体制整備ができてい	る	B型肝炎予防接種率	73.4% (H28)	集計中 (H29)	増加	奈良県調べ
			肝炎ウイルス検査受診者数(市町村) ・B型 ・C型	4401人 (H28) 4,402人 (H28)	4,354人 (H29) 4,357人 (H29)	増加	奈良県調べ
			肝炎ウイルス検査受診者数(保健所) ・B型 ・C型	287人 (H28) 286人 (H28)	350人 (H29) 353人 (H29)	増加	奈良県調べ
	たばこ対策の充実	普及啓発の実施市町村数	37/39 (H28)	36/39 (H30)	増加	奈良県調べ	
禁煙リーフレットの活用機関数 ・市町村 ・医療機関等		18/39 196機関 (H28)	29/39 271機関 (H30)	増加	奈良県調べ		
禁煙支援協力薬局数		56機関 (H28)	92機関 (H30)	増加	奈良県調べ		
スパイロシフトの活用市町村数		4/39 (H28)	3/39 (H30)	増加	奈良県調べ		
喫煙防止教育の参加人数		H29に 把握予定	—	増加	奈良県調べ		
敷地内・建物内禁煙の実施市町村数 ・敷地内禁煙 ・建物内禁煙		2/39 39/39 (H28)	3/39 39/39 (H30)	敷地内禁煙 39/39	奈良県調べ		
受動喫煙防止対策にかかる説明会の参加人数		H30に 把握予定	179+吉野HC (H30)	増加			
健康的な生活習慣の普及	減塩に関する健康教育を実施する市町村数	H29に 把握予定	未把握	増加			
	企業と連携し、減塩対策に取り組む市町村数	H29に 把握予定	未把握	増加			
	乳幼児検診等の機会に減塩、野菜摂取をテーマに健康教育を実施する市町村数	H29に 把握予定	未把握	増加			
	飲酒量チェックリスト掲示市町村・医療機関・薬局数	H30に 把握予定	未把握	増加			
	適正飲酒に関する研修会参加保険者数	H30に 把握予定	未把握	増加			
	保健指導実施保険者数	H30に 把握予定	未把握	増加			
	身体活動を増加させるための普及啓発に取り組んでいる保険者数	H30に 把握予定	9 (H30)	増加			
	適正体重について正しい理解を推進するための普及啓発に取り組んでいる保険者数	H30に 把握予定	9 (H30)	増加			
感染症予防の充実	B型肝炎予防接種率	73.4% (H28)	集計中 (H29)	増加	奈良県調べ		
	肝炎ウイルス検査受診者数(市町村) ・B型 ・C型	4,401人 (H28) 4,402人 (H28)	4,354人 (H29) 4,357人 (H29)	増加	奈良県調べ		
	肝炎ウイルス検査受診者数(保健所) ・B型 ・C型	287人 (H28) 286人 (H28)	350人 (H29) 353人 (H29)	増加	奈良県調べ		
	個別受診勧奨実施市町村数	24/39 (H28)	27/39 (H29)	増加	奈良県調べ		

分野別目標		指標	現状値 (基準値)	H30年度	目標値	出典	
分野	目標						
(2)がんの早期発見							
最終目標	がんが早期の段階で発見されている	がん検診における早期がんの割合 ・胃がん ・大腸がん ・肺がん ・乳がん ・子宮がん	44.2% 39.1% 27.3% 48.1% 21.1% (H27)	56.0% 60.9% 35.7% 58.2% 18.2% (H28)	増加	市町村がん検診結果報告	
	がんが早期の段階で診断されている	がん登録における早期がんの割合 ・胃がん ・大腸がん ・肺がん ・乳がん ・子宮がん	57.7% 40.2% 32.9% 60.6% 42.2% (H25)	59.9% 44.9% 37.2% 60.4% 40.9% (H27)	増加	がん登録(奈良県)	
中間評価	がん検診を受けやすい体制整備ができて いる	がん検診受診率 ・胃がん ・大腸がん ・肺がん ・乳がん ・子宮がん	36.2% 39.0% 38.5% 40.9% 38.3% (H28)	—	50%	国民生活基礎調査(厚生労働省)	
	精度の高いがん検診が実施できている	要精検率 ・胃がん ・大腸がん ・肺がん ・乳がん ・子宮がん	4.3% 5.9% 1.4% 9.0% 1.5% (H27)	3.9% 6.0% 1.5% 8.5% 1.3% (H28)	11.1%以下 7.0%以下 3.0%以下 11.0%以下 1.4%以下	市町村がん検診結果報告	
		要精検受診率 ・胃がん ・大腸がん ・肺がん ・乳がん ・子宮がん	85.3% 74.7% 89.8% 94.6% 81.8% (H27)	85.3% 75.6% 91.6% 94.8% 79.0% (H28)	90%以上	市町村がん検診結果報告	
	精度の高いがん検診が実施できている	陽性反応適中度 ・胃がん ・大腸がん ・肺がん ・乳がん ・子宮がん	3.81% 5.09% 2.49% 4.60% 3.47% (H27)	2.6% 4.2% 2.9% 3.7% 2.4% (H28)	1.0%以上 1.9%以上 1.3%以上 2.5%以上 4.0%以上	市町村がん検診結果報告	
		がん発見率 ・胃がん ・大腸がん ・肺がん ・乳がん ・子宮がん	0.16% 0.30% 0.03% 0.42% 0.05% (H27)	0.10% 0.25% 0.04% 0.32% 0.03% (H28)	0.11%以上 0.13%以上 0.03%以上 0.23%以上 0.05%以上	市町村がん検診結果報告	
		精検未把握率 ・胃がん ・大腸がん ・肺がん ・乳がん ・子宮がん	5.9% 8.0% 4.3% 1.4% 6.8% (H27)	5.2% 7.1% 3.1% 2.4% 9.7% (H28)	5%以下	市町村がん検診結果報告	
		精検未受診率 ・胃がん ・大腸がん ・肺がん ・乳がん ・子宮がん	8.8% 17.3% 5.9% 4.0% 11.5% (H27)	9.6% 17.2% 5.2% 2.8% 11.3% (H28)	5%以下	市町村がん検診結果報告	
	石綿ばく露による健康不安を持つ人の割合	石綿ばく露による健康不安を持つ人の割合 石綿にばく露し、病気になるかもしれないという不安がある人の割合	81.7% (H28)	— 74.4% (H29)	減少	石綿ばく露者の健康管理にかかる試行調査における不安の変化に関するアンケート(環境省)	
	施策目標	がん検診の受診促進	「がん検診を受けよう!」奈良県民会議登録会員数	123 (H29)	126 (H30)	増加	奈良県調べ
			奈良県がん検診応援団企業数	13 (H29)	15 (H30)	実施、公表	奈良県調べ
がん予防推進員を養成し、ともに受診促進に取り組む市町村数			10市町村 (H29)	12市町村 (H30)	増加	奈良県調べ	
受診勧奨・再勧奨に取り組む市町村数			22市町村 (H29)	29市町村 (H30)	増加	奈良県調べ	
セット検診を実施している市町村数 ・男性 3がん ・女性 5がん			31市町村 16市町村 (H28)	23市町村 16市町村 (H29)	増加	奈良県調べ	
がん検診精度管理の充実		集団検診における休日(土日・祝日)、早朝又は夜間検診を実施している市町村数 ・胃がん ・大腸がん ・肺がん ・乳がん ・子宮がん	71.8% 66.7% 71.8% 53.8% 56.4% (H28)	69.2% 71.8% 71.8% 61.5% 64.1% (H29)	増加	奈良県調べ	
		協会けんぽの被扶養者検診と市町村特定健診及びがん検診の同時実施している市町村数	10市町村 (H29)	7市町村 (H30)	増加	奈良県調べ	
		がん検診従事者研修会の参加者数(延べ)	530人 (H28)	186名 (H30)	増加	奈良県調べ	
石綿の健康影響に対する対策の促進		市町村がん検診チェックリストを用いた実態調査において実施率が80%以上である市町村の数 ・胃 集団 個別 ・大腸 集団 個別 ・肺 集団 個別 ・乳 集団 個別 ・子宮 集団 個別	24/38 5/16 22/37 10/25 24/38 2/8 22/32 15/33 22/33 17/36 (H28)	27/38 8/17 25/37 11/15 27/38 5/7 21/35 18/33 21/32 20/36 (H29)	増加	奈良県調べ	
		石綿ばく露による健康不安を持つ人の割合 石綿にばく露し、病気になるかもしれないという不安がある人の割合	81.7% (H28)	— 74.4% (H29)	減少	石綿ばく露者の健康管理にかかる試行調査における不安の変化に関するアンケート(環境省)	

分野別目標		指標	現状値 (基準値)	H30年度	目標値	出典		
分野	目標							
2 がん医療								
(1) がん医療の充実								
最終目標	安全かつ安心な質の高い医療を受けている	5年相対生存率	—	60.3% (H23)	増加 (12年後評価)	がん登録(奈良県)		
	がん患者が納得した治療を選択できている	医師による診療・治療内容に満足している	82.4% (H29)	—	増加	ならのがんに関する患者意識調査		
		診断や治療方針について、自分の疑問や意見を十分に医師に伝えられた	70.6% (H29)	—				
中間目標	各療法について、県内で安全で質の高い医療が提供できている	がんの診断から治療開始までの状況を総合的に振り返り、自身が納得いく治療を選択することができた	86.0% (H29)	—	増加	現況報告		
		がん治療で生じた安全問題を検討している拠点病院の割合・検討会の開催回数(1年間)	100% 159回 (H28)	100% H30から回数記載なし			増加	現況報告
		手術・化学療法・放射線クリティカルパスに対し、1年に1回以上バリエーション分析を行っている拠点病院の割合	60% (H28)	H30から記載なし				
	がん患者が必要な時にサポートを受けられるチーム医療体制が整備され、医療従事者間の連携が強化されている	県内のがん患者が県内がん診療連携拠点病院に受診している割合	70.9% (H25)	77.5% (H28)	増加	がん診療連携拠点病院院内がん登録全国集計報告書		
		診断・治療に関わる医師、看護師、他の医療スタッフは、十分に連携している	65.6% (H29)	—	増加	ならのがんに関する患者意識調査		
		がん治療を決めるまでの間、医師、看護師、他のスタッフは、治療について、患者がほしい情報を提供している	88.4% (H29)	—	増加	ならのがんに関する患者意識調査		
がん患者やその家族に必要な情報を提供できている	がん治療方法についての情報が不十分である	29.4%	—	減少	ならのがんに関する患者意識調査			
	病院の診療体制や治療状況についての情報が不十分である	22.3% (H29)	—	—	—			
施策目標	がん医療提供体制の充実	がん化学療法看護認定看護師が配置されている拠点病院・診療病院・支援病院の割合	88.9% (H28)	77.8% (H30)	増加	現況報告		
		がん専門薬剤師またはがん薬物療法認定薬剤師が配置されている拠点病院の割合	80.0% (H28)	80.0% (H30)	増加			
		がん放射線療法看護認定看護師が配置されている拠点病院・支援病院の割合	57.1% (H28)	57.1% (H30)	増加			
		拠点病院の病理診断医師数	20人 (H28)	19人 (H30)	増加			
	がん医療の質の向上	悪性新生物手術の実施件数(人口10万人あたりの実施件数(1ヶ月分))	34.1 (H26)	—	増加	平成26年医療施設調査(厚生労働省)		
		放射線治療(体外照射)の実施件数(人口10万人あたりの実施件数(1ヶ月分))	243.3 (H26)	—	増加			
		外来化学療法の実施件数(人口10万人あたりの実施件数(1ヶ月分))	223.8 (H26)	—	増加			
		実地調査の結果について、がん診療連携協議会等で情報共有	実施済み (H29)	実施済み (H30)	継続実施	—		
		拠点病院等での医療安全管理部門等での検討会の開催回数	159回 (H28)	H30から記載なし	増加	現況報告		
		医療の質の評価方法について検討結果の公表	—	—	3年以内に公表	—		
	患者目線でのがん診療情報の提供	診療機能、診療実績等の情報提供内容、周知方法等の検討結果の公表	—	協議会で公表 (H30)	2年以内に公表	—		
		病院等での「療養ガイド」等の配布数	29,000部 (H25~29)	10,000部作成 (H29末)	増加	奈良県調べ		
「がんネットなら」の認知度、アクセス数		11.3% (H29)	—	増加	ならのがんに関する患者意識調査			
担当医からセカンドオピニオンの説明を受けた割合		27.1% (H29)	—	増加				
医師から不妊への影響について説明を受けた割合(40歳未満)		45.5% (H29)	—	増加				
(2) がんと診断された時からの緩和ケア								
最終目標	身体的、精神的、社会的苦痛が緩和されている	からだの苦痛に対する緩和ケアの早い提供 症状改善の状況	88.9% 59.3% (H29)	—	増加	ならのがんに関する患者意識調査		
		気持ちのつらさに対する緩和ケアの早い提供 症状改善の状況	86.0% 62.0% (H29)	—	増加			
中間目標	質の担保された緩和ケア提供体制(緩和ケア外来、チーム医療)が整備されている	緩和ケアチームにおける年間新規診療症例数(拠点病院)	846人 (H28)	748人 (H29)	増加	現況報告		
		緩和ケア外来患者の年間新規診療症例数	192人 (H28)	228人 (H29)	増加			
施策目標	がん患者の緩和ケアについての正しい理解が進んでいる	緩和ケアはがんと診断された時から受けるものだと知っている	40.6% (H29)	—	増加	ならのがんに関する患者意識調査		
		緩和ケア外来患者の年間受診患者のべ数(拠点病院)	1,634人 (H28)	2,044人 (H29)	増加	現況報告		
	緩和ケア外来患者の年間新規診療症例数	846人 (H28)	748人 (H29)	増加				
	緩和ケアチーム研修会の参加医療機関数	8施設 (H28)	8施設 (H30)	増加	奈良医大調べ			
	緩和ケア提供体制に関する評価・分析の公表(年1回)	—	未実施	実施	—			
	緩和ケアの提供体制の充実	がん患者指導管理料1を算定している医療機関数	17施設 (H29.12.1)	18施設 (H31.3.1)	増加	厚生労働省近畿厚生局		
		がん患者指導管理料2を算定している医療機関数	16施設 (H29.12.1)	17施設 (H31.3.1)	増加			
		拠点病院における緩和ケア研修会受講率(医師)(拠点病院)	91.4% (H29.9.1)	94.6% (H30.9.1)	90%以上	現況報告		
		看護師等の緩和ケア研修会(ELNEC-J)の受講者数	—	未実施	増加	奈良医大調べ		
	緩和ケアの理解促進と情報提供の充実	緩和ケアフォローアップ研修(アドバンス研修)受講者数	「がんネットなら」の認知度、アクセス数	11.3% (H29)	—	増加	ならのがんに関する患者意識調査	
拠点病院等における公開講座の開催回数			6回 (H28)	5回 (H30)	増加	現況報告		

分野別目標		指標	現状値 (基準値)	H30年度	目標値	出典
分野	目標					
(3)地域連携						
最終目標	住み慣れた場所で、療養生活を送ることができる	がん患者の在宅死亡割合	17.5% (H27)	18.7% (H28)	増加	人口動態統計
	居住する地域にかかわらず、質の高い医療を受けられる	在宅緩和ケアについて、希望し、実現可能	40.2% (H29)	—	増加	ならのがんに関する患者意識調査
中間目標	がん診療連携拠点病院等とかかりつけ医・在宅医とのスムーズな医療連携ネットワーク体制が整備されている	病院から診療所・在宅医療(看護も含む)へ移った際、病院での情報(診療方針)が診療所、訪問看護ステーションに円滑に伝わった	20.7% (H29)	—	増加	ならのがんに関する患者意識調査
		地域連携クリティカルパス適用患者件数	137件 (H28)	122件 (H29)	増加	奈良県調べ
		在宅療養支援診療所数	151施設 (H29.10.1)	162施設 (H31.3.1)	増加	厚生労働省近畿厚生局
	緩和ケアに関してがん診療連携拠点病院等と地域で連携体制が整備されている	がん診療連携拠点病院における緩和ケアに関する地域多職種カンファレンスの開催回数	16回 (H28)	H30から記載なし	増加	現況報告
		地域の医療機関からの年間新規紹介患者数	32人 (H28)	42人 (H29)	増加	
	がん患者が地域連携や在宅医療について、必要な情報提供を受けている	自宅での療養生活についての情報が不十分である	39.9% (H29)	—	増加	ならのがんに関する患者意識調査
施策目標	拠点病院等の地域連携体制の充実	地域連携パスの活用状況の把握・公表	137件 (H28)	122件 (H29)	増加	奈良県調べ
		緩和ケアパスを整備している拠点病院数	1施設 (H28)	1施設 (H29)	増加	
		多職種カンファレンスの実施回数	16回 (H27.8.1-H28.7.31)	22回 (H29.1.1-H29.12.31)	増加	現況報告
	在宅緩和ケア提供体制の整備及び充実	在宅医療機能の公表[がん患者対応可能な診療所、訪問看護ステーション、薬局等の施設数]	実施済み (H28)	診療所調査実施 (H30)	継続実施	現況報告、奈良県調べ
		在宅緩和ケア研修会の参加者数	80人 (H28)	57人 (H29)	増加	奈良県調べ
		医療・介護従事者への緩和ケア研修会の実施回数、参加者数	8回/449人 (H28)	8回/697人 (H30)	増加	現況報告
	がん患者や県民への情報提供と普及啓発	地域連携パスの認知度	14.5% (H29)	—	増加	ならのがんに関する患者意識調査
		「がんネットなら」の認知度、アクセス数	11.3% (H29)	—	増加	

分野別目標		指標	現状値 (基準値)	H30年度	目標値	出典	
分野	目標						
3 がん患者等への支援							
(1) 相談支援及び情報提供							
最終目標	がん患者の不安や悩みが軽減されている	がんと診断したことによる心配や悩みは何らかの支援によって現在は軽減した	36.4% (H29)	—	増加	ならのがんに関する患者意識調査	
	がん患者の不安や悩みの発生が抑えられている	からだや治療のことで心配になったとき、担当医以外にも相談できるところがある	32.3% (H29)	—	増加		
中間評価	がんに関する情報が得やすい体制ができている	がんに関する情報	29.4%	—	減少	ならのがんに関する患者意識調査	
		・がんの治療方法についての情報が不十分	22.3%				
		・病院の診療体制や治療状況についての情報が不十分	37.0%				
		・緩和ケアについての情報が不十分	43.7%				
		・がん治療にかかる費用についての情報が不十分	44.4%				
		・経済的支援や利用できる社会保障制度などの情報が不十分	39.9%				
		・自宅での療法生活についての情報が不十分	31.7% (H29)				
	がん患者やその家族等が、質の高い相談支援が受けられる体制ができている	がん相談支援センターを利用して、相談が役に立った	100% (H28)	98.1% (H29)	現状維持	がん相談支援センター利用状況調査	
施策目標	相談支援機能の強化	がん相談支援センターの利用者数(9病院)	5,880件 (H28)	6,407人 (H29)	増加	奈良県調べ	
		相談支援センターの認知度	51.8% (H29)	—	増加	ならのがんに関する患者意識調査	
		国立がん研究センター研修【指導者研修】を受けた相談員数	12人 (H25-29)	研修実施なし	増加	奈良県調べ	
		県内相談員対象の研修会の開催回数	1回 (H29)	1回 (H30)	実施継続	奈良医大調べ	
		がん患者サロンの利用者数	801人 (H28)	760人 (H29)	増加	奈良県調べ	
		がん患者サロンの認知度	50.2% (H29)	—	増加	ならのがんに関する患者意識調査	
		がん患者サロン運営会議の開催回数(各拠点病院)	8回 (H28)	7回 (H29)	実施継続	奈良県調べ	
		がん患者サロン運営者会議の開催回数	2回 (H28)	1回 (H30)	実施継続		
		ピア・サポーター養成数	48人 (H29)	—	増加		
		患者目線での情報提供の充実		「がんネットなら」の認知度	11.3% (H29)	—	増加
「がんネットなら」のページビュー数	69,241件 (H28)			60,721件 (H29)	増加	奈良県調べ	
(2) がん患者の就労を含めた社会的な問題							
最終目標	がん患者やその家族が抱える仕事と治療の両立についての不安が軽減されている	がんの治療を受けながら、働き続けられる環境だと思う	29.1% (H29)	—	増加	ならのがんに関する患者意識調査	
	がん患者が働くことが可能で、働く意欲のあるがん患者は安心して働くことができる	がんと診断され、検査や治療が進む中、仕事の継続に対する事業主の理解・支援が受けられた	78.9% (H29)	—	増加		
中間評価	事業所と医療機関、県、国(労働局等)の有機的な連携が一層推進している	仕事と治療の両立支援体制のある事業所の割合	75.3% (H28)	—	増加	職場環境調査	
	がん患者に仕事と治療の両立についての必要な情報を提供できている	がんで初めて治療・療養したとき、一定期間(連続して3カ月以上)仕事を休み、復職、復帰した	37.6% (H29)	—	増加	ならのがんに関する患者意識調査	
施策目標	がん患者の治療と仕事の両立等の相談支援体制の充実	就労相談の実施回数、利用者数	27回/40人 (H28)	32回/40人 (H29)	増加	奈良県調べ	
		情報交換会の実施回数	1回 (H29)	未実施	継続実施		
		医療従事者の研修会実施回数	1回 (H28)	2回 (H29)	増加		
		リーフレットの配布部数(就労支援相談窓口)	—	7,000部作成 (H30)	増加		
	がん患者の治療と仕事の両立支援体制の整備		就労相談窓口の認知度	10.8% (H29)	—	増加	ならのがんに関する患者意識調査
			就職相談窓口の認知度	7.4% (H29)	—	増加	
			就職相談の実施回数、利用者数	27回/30人 (H28)	52回/50人 (H29)	増加	
	がん患者の治療と仕事の両立支援体制の整備		職場環境調査の実施結果の公表	H25、H28 公表済み	—	実施、公表	—
就労を含めた社会的な問題等の情報提供の充実		「奈良県社員・シャイン職場づくり推進事業」のがん治療と仕事の両立支援企業登録数	3件 (H28)	6件 (H30)	増加	奈良県調べ	
		情報発信した好事例の企業数	—	未実施	増加		

分野別目標		指標	現状値 (基準値)	H30年度	目標値	出典
分野	目標					
4 がん登録						
最終目標	医療の質が向上している	5年相対生存率	-	60.3% (H23)	増加 (12年後評価)	がん登録(奈良県)
中間目標	がん登録データの精度が向上し、データを有効活用している	DCN:死亡情報で初めて把握された症例 DCO:死亡情報のみの症例 MI比:死亡/罹患比	9.6% 6.3% 0.41 (H25)	6.0% 3.9% 0.37 (H27)	減少	がん登録(奈良県)
	地域でがん登録データが活用しやすい体制ができている	データ活用の件数	-	1件 (H30)	増加	奈良県調べ
	県民が、全国がん登録について正しい理解が進んでいる	がん登録の認知度	14.4% (H29)	-	増加	ならのがんに関する患者意識調査
	がん登録に基づいた適切な情報を得ることができている	がんの病態や統計データ等の情報が不十分である	31.7% (H29)	-	減少	
施策目標	がん登録の精度向上	全国がん登録オンラインシステムでの申請可能な医療機関数	44医療機関 (H29.10)	58医療機関 (H30.12)	増加	奈良県調べ
		研修参加医療機関数	35医療機関 44人 (H29度)	22医療機関 29人 (H30)	増加	
	がん登録データ等を活用したがん対策の検討・実施	各種分析及び評価の結果の公表	-	見える化事業実施 (H30)	3年以内に 段階的に公表	-
		検討結果を公表	-	未公表	2年以内に 公表	-
		審議会の開催回数	-	1回 (H30)	実施	奈良県調べ
	データを活用した情報提供等	検討結果の公表	-	協議会で公表 (H30)	2年以内に 公表	-
		「がんネットなら」ページビュー数	69,241件 (H28)	60,721件 (H29)	増加	奈良県調べ
		チラシ配布数	-	-	増加	

分野別目標		指標	基準値	H30年度	目標値	出典
分野	目標					
5 がん教育・普及啓発						
最終目標	中学生、高校生におけるがんに関する知識の向上	早期発見すれば、がんは治りやすい	事前 92.8% % 事後 97.7% % 向上率 4.9% %	事前 96.4% % 事後 98.5% % 向上率 2.1% %	向上率の向上 又は維持	がんの教育実施状況調査 (文部科学省) * 現状値(基準値)は、第2期計画の間にモデル校の生徒(中学生・高校生)を対象に行った「がんの教育実施状況調査(文部科学省 H26～29年)」の平均値
		がん検診を受けられる年齢になったら検診を受けようと思う	82.4% % 88.1% % 5.7% %	87.5% % 90.7% % 3.2% %		
		がんになっている人も過ごしやす世の中になりたい	92.9% % 96.0% % 3.1% %	89.9% % 96.8% % 6.9% %		
		がんと健康について、まずは身近な家族から話そうと思う	77.7% % 82.4% % 4.7% %	77.2% % 83.4% % 6.2% %		
		将来、たばこは吸わないでいようと思う	85.9% % 93.7% % 7.8% %	95.8% % 96.1% % 0.3% %		
		中学校、高等学校において、がん教育教材を使用したがん教育が実施できている	中学校、高等学校のがん教育の実施率 ・中学生 ・高校生	74.4% 64.1% (H28)		
小学校において、「奈良県がん向き合う日」を活用し、がんに関する啓発ができている	啓発用リーフレットを活用したがんに関する啓発の実施率	-	90.3% (H29)	増加	がんの教育実施状況調査 (文部科学省)	
施策目標	中学校・高等学校におけるがん教育の充実、推進	中学校・高等学校におけるがん教育の実施率 ・中学校 ・高等学校	74.4% 64.1% (H28)	81.7% 55.9% (H29)	増加	がんの教育実施状況調査 (文部科学省)
	小学校(高学年)におけるがんに関する啓発活動	小学校におけるがんに関する啓発の実施率	- (調査中)	47.4% (H29)	増加	奈良県調べ
	がん教育の普及啓発の推進	教員を対象としたがん教育に関する研修会の実施回数	1回 (H28)	1回 (H29)	維持	奈良県調べ
	がん対策全般に関する普及啓発の推進	「がんネットなら」ページビュー数	69,241件 (H28)	60,721件 (H29)	増加	奈良県調べ